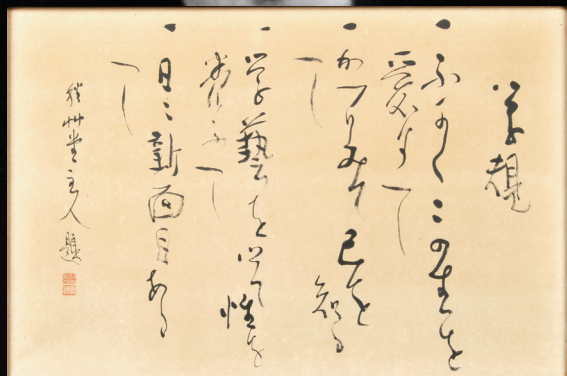


学藝を以て

性を養ふべし



学規

小林正樹が早稲田大学卒業時に會津八一から贈られた書「学規」(世田谷文学館蔵)。弟子と認めた者にのみ書き与えられた四力条からなるこの書を、小林は生涯の指針とした。

〔期間〕 2016年10月7日(金)～12月11日(日)

〔時間〕 10:00～18:00(入館は17:30まで)

〔休館日〕 月曜日(祝日の場合は翌日)

〔主催〕 新潟市會津八一記念館

〔共催〕 新潟日報社、BSN新潟放送

〔協力企業〕 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

〔特別協力〕 一般社団法人 小林正樹監督遺託業務世話人会・芸游会
公益財団法人 せたがや文化財団 世田谷文学館

〔観覧料〕 一般/500円、大学生/300円、
高校生/200円、小中学生/100円

※団体20名以上2割引、土日祝日は小中学生無料

〔会場〕 新潟市會津八一記念館



AIZU YAICHI
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM

新潟市會津八一記念館

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 メディアシップ5F

TEL.025-282-7612 (10:00～18:00) <http://aizuyaichi.or.jp>

會津八一
没後60年
小林正樹
生誕100年

映画監督

小林正樹と 會津八一

MASAKI KOBAYASHI

YAICHI AIZU

小林正樹の『人間の條件』は、
戦争のなかでなお生きること問うた作品だ。
恩師會津八一の学規には「ふかくこの生を愛すべし」とある。
この師弟の交流を追う。



小林正樹(1916～1996)は、日本を代表する映画監督の一人です。

早稲田大学で美術史を学び、會津八一(1881～1956)の指導を受けています。昭和16(1941)年、卒業論文『室生寺建立年代の研究』を執筆した小林は、研究者として八一に将来を囑望されましたが、映画の道を選択します。それでも二人の交流は戦中戦後の激動期も続き、師弟の温かな手紙のやり取りが続けられました。

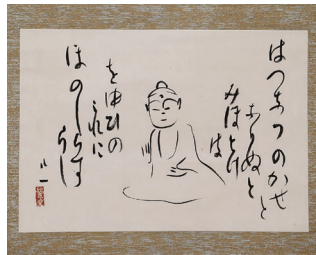
戦後、映画監督になった小林は、『切腹』『怪談』(カンヌ国際映画祭審査員特別賞を受賞)や、戦争をテーマにした全6部の超大作『人間の條件』、長編記録映画『東京裁判』等を世に送ります。昭和46(1971)年には、カンヌ国際映画祭で世界十大監督の一人として功労賞を受賞し、国際的にも活躍しました。

小林は映画監督を志して以来、八一を題材にした映画を構想しています。その計画は、彼の晩年、テレビドキュメンタリーで実現しました。しかし、小林は体調を崩して監督を降板、監修者として八一を演じた仲代達矢氏らを指導しています。この番組は小林が没した平成8(1996)年10月4日の9日後の13日に放送されました。

本展では會津八一没後60年と小林正樹生誕100年、没後20年にあわせて、往復書簡など、二人の芸術と交流を紹介します。



1



2



3



4

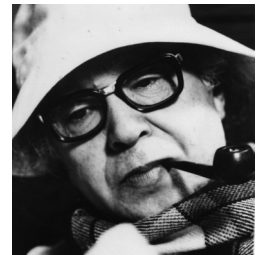


5



6

1.小林正樹「篆刻道具、自作の印鑑、篆刻集」(世田谷文学館蔵、會津八一の教えを受けて篆刻を始め、従軍時も一式を持って行った) 2.會津八一書《仏図・はつなつ》(世田谷文学館蔵・小林正樹旧蔵) 3.會津八一書《ひとりきて》(世田谷文学館蔵・小林正樹旧蔵) 4.會津八一書《尚古》(公益財団法人 會津八一記念館寄託・小林正樹旧蔵、学生時代に贈られた陶器作品) 5.「カンヌ国際映画祭25周年記念功労賞」トロフィー(世田谷文学館蔵、世界十大監督の一人として贈られた記念品) 6.小林正樹作成「會津八一講義ノート」(世田谷文学館蔵、八一の授業を筆記)



小林正樹

(こばやし・まさき / 1916-1996)

映画監督。早稲田大学文学部哲学科 藝術学専攻で會津八一に師事。昭和16(1941)年松竹に入社した翌年応召、満州に出征、宮古島で終戦を迎える。その後、木下恵介の助監督を務め、昭和27(1952)年に監督デビュー。「完全主義」「反骨」「反権力」などと評される小林の映画作品は、学生時代に師事した八一にも通じるところがあると言われる。生涯で22本の監督作品を送り出し、国内外で数々の映画賞を受賞、海外で最も評価された日本人映画監督の一人である。



EVENT INFORMATION

[会期中のイベント] 小林正樹監督 関連映画DVD上映

会場:日報ホール
(メディアシップ2階)

11月2日(水) 13:30

切腹

1962 / モノクロ / 134分 / シネスコサイズ / 松竹京都

武家社会の虚飾を豪快に暴いた、初の本格時代劇。カンヌ国際映画祭で喝采を浴び、小林の世界的名声を確固たるものとした作品。主演:仲代達矢。/ 観覧料:無料



11月9日(水) 13:30

化石

1975 / カラー / 201分 / スタンダードサイズ / 四騎の会=俳優座

死の宣告を受けた男がヨーロッパを旅しながら、生と死を見つめ直す人間ドラマ。黒澤明、市川崑、木下恵介と結成した四騎の会が制作に参加。井上靖原作。/ 観覧料:無料



11月16日(水) 14:00

館長講演会+上映会

會津八一

歌と書の世界

1996 / カラー / 30分 / 新潟市



小林の念願だった會津八一を題材にしたドキュメンタリー。企画途中で小林が体調を崩し監督を降板、監修者として参加した。仲代達矢氏が會津八一役で出演。

上映後に神林恒道館長の講演会を予定しています。
聴講料:500円

10月19日(水) 14:00

文芸講演

講師:阿部弘氏(元宮内庁正倉院事務所長) / 演題:「正倉院の役割」/ 聴講料:500円

申込方法

往復はぎに参加希望上映会(講演会)と住所、氏名、電話番号をお書きの上、會津八一記念館へ上映7日前までにお送りください。1通につき1上映会(講演会)、1名までの応募といたします。定員に達し次第締め切ります。



AIZU YAICHI
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM

新潟市 會津八一記念館

◎交通のご案内 新潟駅からタクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港からタクシー約15分

◎駐車場のご案内 メディアシップ駐車場(24時間営業)、時間貸し駐車場 220円(税込)/30分、夜間最大(22時～翌8時) 1,000円(税込)、時間貸し駐車スペースは3～4階(77台)

万代シティ共通駐車サービス券をご利用いただけます。※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。

お問合せ先

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F
TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614

当館へはメディアシップのエレベーターをお使いください。
(階段はございません)

